

初 任 教 育

初任教育は、新たに採用した消防職員の全てに対して行う基礎的訓練をいいます。
本校では、神戸市を除く県内市町消防本部の新任消防士を対象に、4月から9月までの6ヶ月間で実施しています。
初任教育の主な行事とその内容は次のとおりです。

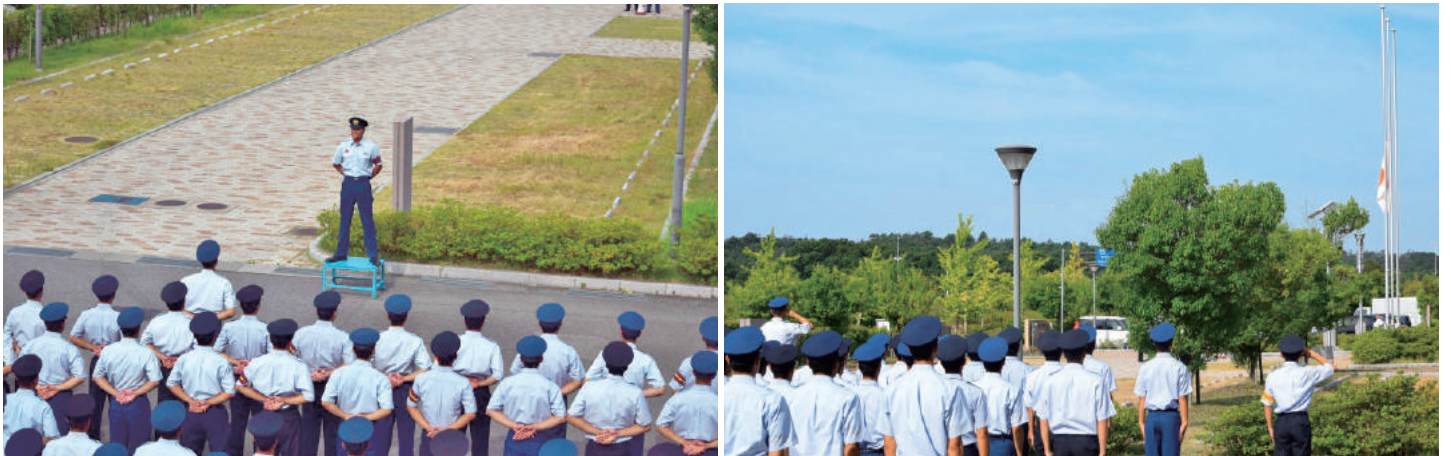
入校式



(写真提供:(有)米田フォト、以下同じ)

6ヶ月間の教育期間の開始にあたり、教育生による学校規則の遵守、教育訓練への専念、教育生としての本分を尽くすという宣誓を行います。

朝夕礼



消防隊員は、諸制式に熟練し部隊行動を確実軽快にするとともに、厳正な規律を身につける必要があります、そのため、教育訓練カリキュラムにも「訓練礼式」というものがあります。

毎日の朝夕礼を通じ、普段から礼式を身につけるよう努めます。

歓迎体力錬成会



入校の翌週、教育生の基礎体力の把握及び向上を目的として、腕立て伏せや腹筋等の体力錬成と三木総合防災公園周辺での約10kmの長距離走を実施します。

座学



初任教育では、様々な技術とともに知識も身につけなければなりません。
6ヶ月の教育期間中に、19教科目、約300時間の座学を実施し、知識の修得を図ります。

御坂体錬 (みさかたいれん)



消防職員としての基礎体力及び厳正な規律を体得させることによって、教育生の士気高揚と精強な隊員の育成を図ることを目的として、兵庫県内の現役救助隊員の指導による体力錬成を行います。

強歩訓練



林野火災を想定し、各自が消防用ホースを携行して山道を含む約25kmの行程を歩行するとともに、班、小隊及び中隊の組織単位での行動を通じ、協調精神の醸成と体力の錬成を図る訓練です。

夜間歩行訓練



過酷な条件下で長距離を隊列行進するという部隊行動を通じて、災害救助活動に対処できる体力及び精神力、さらには互いに励まし合いながら目的を完遂することで得られる団結心の養成などを目的に、三木市の広域防災センター兵庫消防学校から明石市消防本部を經由して再び兵庫県消防学校に戻る約60kmを夜を徹して歩行します。

県市合同体力錬成会



兵庫県消防学校と神戸市消防学校の初任教育生が合同で競技を実施し、互いに入校時から鍛えてきた体力錬成の成果を発揮するとともに、両校生の士気高揚と県・市教育生間の団結力を高め、親睦を図ることを目的として実施します。

大規模災害事故対策訓練



社会情勢が複雑多様化し、日々様々な災害が発生するとともに、東日本大震災のような大規模な自然災害も発生している中、これらに即応する消防職員には迅速かつ的確に災害現場に対応できる知識及び技術、そして災害に立ち向かう強靱な精神力と体力が求められています。

この訓練は、災害が広範囲にわたり、長時間の消防活動が予測される災害現場を想定し、限られた人員及び資器材を最大限に活用した消防訓練を実施することにより、消防職員として必要な精神力及び体力の向上を図り、技術を習得することを目的とするものです。

体育(水泳)



教育生の泳力の向上と水難救助に関する基礎的知識の修得のために行います。

救助訓練



この訓練は、消防活動に必要なロープ結索、渡過、降下、登はん等に関する技術の習得及び強靱な精神力、体力の錬成を目的として、兵庫県内の現役救助隊員の指導の下、3日間連続して実施します。

総合演習



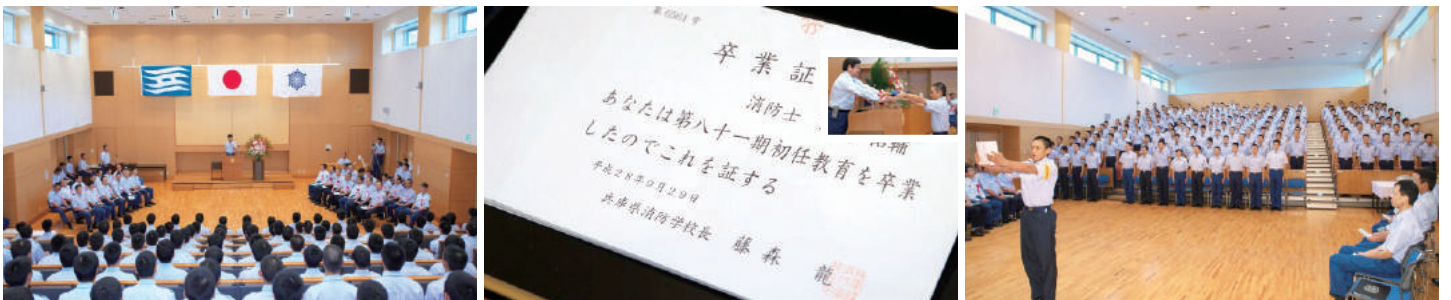
本校初任教育カリキュラムの1/4を占める教科目「消防活動応用訓練」の教育効果を確認するとともに、実戦的な訓練を行うことによる現場活動対応能力の向上を目的として実施します。

査閲（訓練成果披露）



6ヶ月にわたる初任教育で習得した技術等を活用し、教育訓練の集大成として、分列行進や観閲等の式典、各種結索訓練や三連はしご伸梯訓練等の基本訓練、災害現場を想定した消防活動応用訓練や救助訓練等の応用訓練を、消防関係者や家族、友人、一般県民に披露します。

卒業式



6ヶ月の初任教育を修了した証として卒業証書の授与を行うとともに、成績表彰等を行います。
卒業すれば、それぞれが所属する市町の消防本部に戻り、消防士として災害現場の第一線で活動することとなります。